

関さんの森 昔のくらし館

3月29日 開館記念イベント

築 240年の雑蔵

関家は幸谷村曲淵氏知行地の名主をつとめ、江戸時代に建てられた門や蔵、古文書や昔の生活用品が今も保存されています。生活用品は蔵を改修して展示。このたび「昔のくらし館」として、リニューアルします。また、古文書は新松戸のタウン誌『月刊新松戸』に「関さんの蔵通信」として2012年から連載。これを整理してまとめた『関家の古文書をよむー関さんの蔵通信 100号誌ー』を発刊しました。満開の桜のもと、江戸時代の幸谷村の人々の暮らしに思いを馳せてみませんか。



樹齢120年のソメイヨシノ



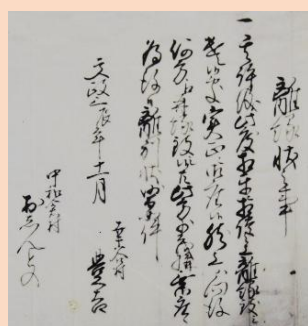
昔のくらし館内部(2025年)



民具(座繰り機)



築 220年の薬医門



昔のくらし館には、七つ玉のそろばんや天秤棒はかり、矢立(昔の携帯用筆入れ)といった珍しいものから、石臼や俵編み機、座繰り機(糸を紡ぐ道具)、水汲み桶など、昔の生活用品や農機具などを展示。懐かしさとぬくもりを感じる空間になっています。

左の古文書は、文政3年(1820)に幸谷村の豊吉が、中和倉村のおしんに渡した離縁状「三下り半」の控えです。文面には「この度相互に相談し…」や「向後何方へ再縁致し候とも、この方少しも構い御座なく候、後日のため離縁状…」と書かれています。離縁は夫婦で相談して決めています。離縁状は夫が妻に対して一方的に渡すものではなく、「再婚許可証」としての役割がありました。

「関さんの森昔のくらし館」開館記念イベント

日 時：2026年3月29日(日)10:00~14:00 雨天時も開催します

会 場：関さんの森(関家の庭) 松戸市幸谷131

新松戸駅下車徒歩10分/京成バスウエスト八柱行き「関さんの森」下車2分
自家用車の駐車スペース無し(自転車・オートバイは駐輪できます)

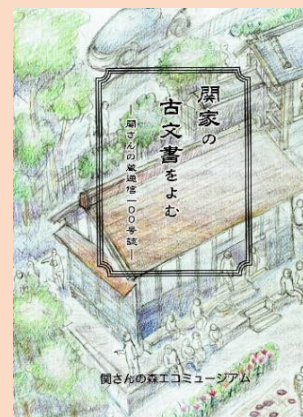
参加費：200円/1人(資料代、保険代/中学生以下は無料)/事前連絡は不要

内 容：関家の門と蔵/昔のくらし館(展示室)/古文書/関家の庭を案内
当日参加の1家族に1冊『関家の古文書をよむ』を贈呈(200冊限定)

主 催：関さんの森エコミュージアム/お問い合わせ：090-4667-0209(山田)



公式 HP



※ 「昔のくらし館」は、常時開館している施設ではありません。「関家の庭」とともに、原則第3日曜日(雨天/7・8月を除く)にガイドがご案内します。詳細はHP/電話でご確認下さい。